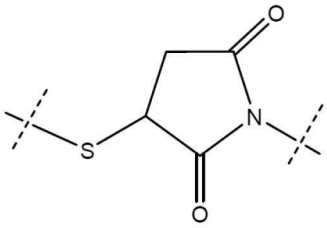
【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】令和6年8月5日(2024.8.5)

【国際公開番号】WO2023/112912
【出願番号】特願2023-567786(P2023-567786)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｋ 47/56(2017.01)
Ａ６１Ｋ 31/7088(2006.01)
Ａ６１Ｋ 38/38(2006.01)
Ａ６１Ｋ 39/395(2006.01)
Ａ６１Ｋ 47/58(2017.01)
Ａ６１Ｋ 48/00(2006.01)
Ａ６１Ｐ 43/00(2006.01)
Ｃ１２Ｎ 15/11(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｋ 47/56
Ａ６１Ｋ 31/7088
Ａ６１Ｋ 38/38
Ａ６１Ｋ 39/395 Ｖ
Ａ６１Ｋ 47/58
Ａ６１Ｋ 48/00
Ａ６１Ｐ 43/00 １０５
Ｃ１２Ｎ 15/11 ＺＺＮＡ

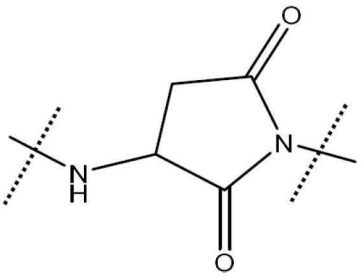
【手続補正書】
【提出日】令和6年5月21日(2024.5.21)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
水酸基を２個以上有し、且つ構成単位の炭素原子のうち側鎖を構成する炭素原子の数が２～１０である単量体（ａ）由来の構成単位を有する重合体（Ａ）と、アミノ酸、ポリペプチド、タンパク質、ヌクレオシド、ヌクレオチドおよび核酸からなる群より選ばれる少なくとも１種を含む成分（Ｂ）とのコンジュゲート化合物。
【請求項２】
前記重合体（Ａ）１００質量部における前記単量体（ａ）由来の構成単位の含有量が５質量部以上である、請求項１に記載のコンジュゲート化合物。
【請求項３】
前記重合体（Ａ）および前記成分（Ｂ）が、アジド基、チオール基、アミノ基、アルキニル基、マレイミド基、スクシンイミド基、脱離基およびジスルフィド基からなる群から選択される少なくとも１種を有する、請求項１または２に記載のコンジュゲート化合物。
【請求項４】
一般式（１）乃至一般式（４）で表される結合の少なくとも１つを含む、請求項１または２に記載のコンジュゲート化合物。

【化１】



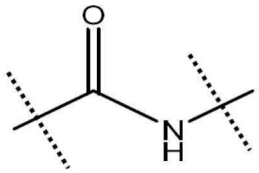
（１）

【化２】



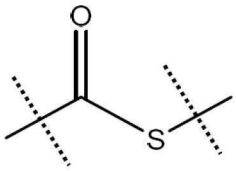
（２）

【化３】



（３）

【化４】



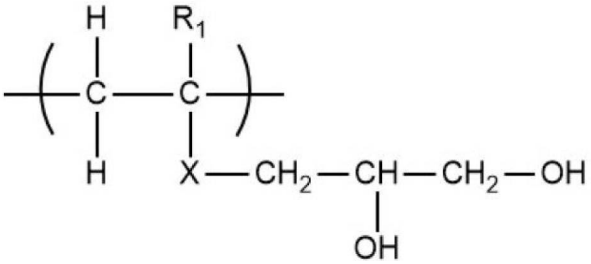
（４）

（式１乃至４において式中、破線は、それぞれ、重合体（Ａ）および成分（Ｂ）に結合していることを示している）

【請求項５】

前記単量体（ａ）由来の構成単位が、一般式（５）：

【化５】



（５）

（式（５）中、R_1は、水素原子またはメチル基を表し、Ｘは、－Ｃ（＝Ｏ）－Ｏ－、－Ｃ（＝Ｏ）－ＮＨ－、－Ｏ－、－CH_2O－または－CH_2CH_2O－を表す）で表される構成単位を含む、請求項１または２に記載のコンジュゲート化合物。

【請求項６】

前記重合体（Ａ）の数平均分子量（Ｍｎ）が１０００～５００００である、請求項１または２に記載のコンジュゲート化合物。

【請求項７】

前記重合体（Ａ）の多分散度Ｍｗ／Ｍｎが１．００以上２．００以下である、請求項１

または２に記載のコンジュゲート化合物。
【請求項８】
前記重合体（Ａ）と、前記成分（Ｂ）との含有質量比　重合体（Ａ）／成分（Ｂ）が、１／９９９～４９９／１である、請求項１または２に記載のコンジュゲート化合物。
【請求項９】
請求項１に記載のコンジュゲート化合物を含有する組成物。
【請求項１０】
請求項１もしくは２に記載のコンジュゲート化合物または請求項９に記載の組成物を含有する医薬品添加剤。
【請求項１１】
水酸基を２個以上有し、且つ構成単位の炭素原子のうち側鎖を構成する炭素原子の数が２～１０である単量体（ａ）由来の構成単位を有する重合体（Ａ）と、アミノ酸、ポリペプチド、タンパク質、ヌクレオシド、ヌクレオチドおよび核酸からなる群より選ばれる少なくとも１種を含む成分（Ｂ）とを反応させる工程を有する、コンジュゲート化合物の製造方法。
【請求項１２】
前記重合体（Ａ）が末端にマレイミド構造またはスクシンイミド構造を有し、前記成分（Ｂ）がアジド基、チオール基、アミノ基、アルキニル基、マレイミド基、スクシンイミド基および脱離基からなる群より選ばれる少なくとも１種を有し、前記マレイミド構造またはスクシンイミド構造と前記アジド基、チオール基、アミノ基、アルキニル基、マレイミド基、スクシンイミド基、および脱離基からなる群より選ばれる少なくとも１種とを反応させる、請求項１１に記載のコンジュゲート化合物の製造方法。